

A close-up photograph of human skin that is severely cracked and dry. The cracks form a dense, irregular network across the entire surface. In the lower-middle portion of the image, there is a dark, shadowed area that resembles the shape of an eye, with a darker center and lighter, shadowed edges, giving it a haunting appearance.

# NID News

2009 January

003

# 特集 卒業・修了研究展

2009年 2月7日(土)～9日(月)

長岡造形大学では、この春学舎を巣立ち、社会へと大きくはばたいべく、学部卒業生及び大学院修士課程修了生の研究成果を展示する「卒業・修了研究展」を開催します。この展示会は、地域の皆様、企業の皆様、高校生に本学の研究成果をご覧いただき、デザイン教育への理解を深めていただくことを目的に、毎年多くの皆様よりご来学いただいています。

学生一人ひとりの個性が咲き乱れる校舎に、ぜひ足をお運びください。

日時：2009年2月7日(土)～9日(月)

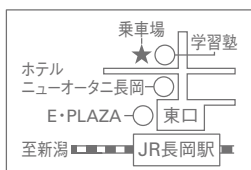
10:00～18:00まで(最終日は15:00まで)

会場：長岡造形大学 入場無料

長岡駅と大学を結ぶシャトルバスを運行いたします。ぜひご利用ください。

### 【長岡駅～大学間 無料シャトルバス運行 発車時刻】

2月7日・2月8日のみ運行  
長岡駅発 / 10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00  
大学発 / 13:30 / 14:30 / 15:30 / 16:45 / 18:00



無料シャトルバス乗車場

JR長岡駅東口より徒歩5分

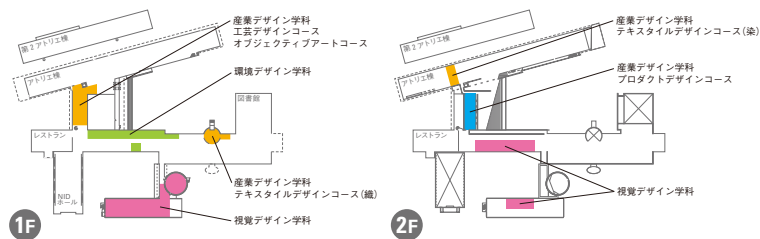
※便によっては満車により乗車できない場合がございますので予めご了承ください。  
※事前の申し込みは不要です。

お問い合わせ先：長岡造形大学 入試広報課

〒940-2088 新潟県長岡市千秋 4-197 tel.0258-21-3331 fax.0258-21-3343

e-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp http://www.nagaoka-id.ac.jp/

### 【卒業・修了研究展学内マップ】 ※予定



今回の卒業・修了研究展のキービジュアルは、視覚デザイン学科の吉川賢一助教(グラフィックデザイン)がデザインを手掛けました。氷柱が融けはじめ、新たな季節が到来する様子を「卒業・修了」のイメージと重ね合わせて表現しています。

【昨年の会場の様子】 例年同様、今年もキャンパス内部をそのまま展示会場に仕立て、学生たちの作品を一堂に展示します。



【研究・制作の様子】これまでの集大成となる研究制作。みなさん朝から晩まで黙々と作業を続けています。完成が楽しみです。 ※カッコ内は平成20年度の4年生のコース



↑カラフルに染め上がり、先輩と並んで。(テキスタイルデザイン)



↑自動車のモデル制作。まるでCMのよう。(プロダクトデザイン)



↑心を込めて色を置いていきます。(ビジュアルデザイン)



↑昔ながらの工法で木材を組み立てます。(文化財保存)



↑自転車のサドルから型をとりました。何ができるでしょうか。(プロダクトデザイン)



↑ウレタン素材で器のアレモデルづくり。(プロダクトデザイン)



↑糸と格闘し、美しいパターンが生まれます。(テキスタイルデザイン)



↑色鮮やかな模様をつくるにはいくつもの工程が。(テキスタイルデザイン)



↑面白いカタチが… 何ができるかは楽しみ。(ビジュアルデザイン)



↑パソコンを駆使して、インテリアの作品づくり。(インテリアデザイン)



↑色を付けて建築パースを仕上げます。(建築デザイン)



↑作品にはどのようなメッセージが詰まっているでしょうか。(ビジュアルアート)



↑専用機械で金属片を削っています。(工芸デザイン)



↑彫金の作品制作。細かい作業が続きます。(工芸デザイン)



↑精密鑄造。よく見ると蝶のモチーフが。(工芸デザイン)



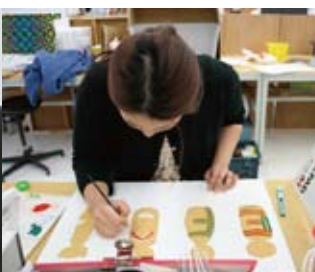
↑模型材料をやすりで削りなめらかに。(プロダクトデザイン)



↑真剣にファッションの素案を練っています。(プロダクトデザイン)



↑ヒモを巧みに使い正確に描いていきます。(ビジュアルデザイン)



↑ロゴタイプの制作中。思わず見入ってしまいます。(ビジュアルデザイン)



↑原寸大の建築模型を制作し、念入りに確認します。(建築デザイン)



↑アートの制作中。周囲の声は聞こえません。(ビジュアルアート)



↑デスクに向かい何度も何度も案を描きます。(ビジュアルデザイン)



↑彫刻の制作。仏像の形が見えてきました。(オブジェティブアート)



↑様々な資料をもとにデータをまとめています。(文化財保存)



↑色とりどりの布地からどのようなモノが生まれるか。(プロダクトデザイン)



↑ガラス作品の制作。吹きガラスだけではないですね。(工芸デザイン)



↑ランドスケープの案を練っています。(空間デザイン)



↑木材を相手にカンナと定規を使い格闘中。(オブジェティブアート)



↑みんなで暖をとってひと時の休憩。(プロダクトデザイン)



↑撮影した写真を編集。作業はまだまだ続きます。(写真・映像デザイン)

プロダクトデザイン演習 I (A) —  
第 2 学年後期  
選択 / 演習

👉 こんな授業！

合理的な思考と発想法、造形力、モデル制作技法及び総合的なデザイン提案力を身に付けることを目的に演習を通して学修します。精巧なモデルを作るための技術や知識の修得、商品提案の上で必要なりサーチやコンセプトメイキングを経て総合的なデザインを行います。

(この授業は、プロダクトデザイン演習 I (B) と連動しています。)

📁 ピックアップ・テーマ

日常的に接する機会の多い製品分野をテーマに、モデル制作、リサーチ・コンセプトメイキング、総合的なデザイン提案と段階的に進めていきます。現在行っている課題では 3 つの加工技術を用いて、テーマに沿ってモデルを制作します。

①塊材の切削：ケミカルウッド（ウレタン系の人工木材）などをカッターで削って成型し、研磨、塗装を加えパソコンのマウスを制作します。

②樹脂鑄型：ケミカルウッドなどで型をつくり、その型に樹脂（ポンドのようなもの）を流し込み化粧用品のパッケージを制作します。

③板材の真空成型：専用の機械によりシート状の樹脂を加熱し、型に押しつけ下から空気を抜くことで密着させてゴーグルやソリを制作します。

😊 ここが面白い

素材の特性を理解し、それに合った加工技術を用いることが重要です。樹脂鑄型では型と型の継ぎ目（パーテーションライン）が必ず出るため、形状に合わせて目立たないように型を制作します。まさに実践に向けた作業が続きます。



↑ 教員による講評



↑ 各テーマで完成したモデル  
左上：マウス、右上：ソリ、下：化粧用品

ビジュアルデザイン演習 I (A) —  
第 2 学年後期  
選択 / 演習

👉 こんな授業！

この授業では、ビジュアルデザインを把握し、立案からイラストレーションなどを用いて実践的な作品に仕上げることが目的に、テーマに沿ってポスターやリーフレットなどの作品制作を行います。

📁 ピックアップ・テーマ

今回のテーマは、「バウハウス・デッサウ展」。20世紀初頭にドイツに誕生した造形芸術学校のバウハウス。世界中のデザインや建築に大きな影響を与えているこの学校の展覧会が新津美術館で行われました。実際に行われた展覧会をテーマに、中吊り広告、web、フライヤー、リーフレット、チケットを制作するために自分なりに噛みくだき、オリジナルのデザインを展開します。

😊 ここが面白い

一つのテーマにより多種多様なデザインが生まれてきます。それは、「バウハウス」を表現するために、調査・分析し、それぞれ答えが異なった結果といえます。

また、好みのデザインを作り上げるだけではなく、ポスター等を見た人が「展覧会に行きたい」と思う広告効果表現しなければなりません。学生はそのような葛藤の中、鉛筆を舐めいくつもの案を出し、その中から実践を意識し、ベストなものを作品として仕上げます。アイデアは形状や形態にまでおよび、プレゼンテーションでは十人十色の作品を見ることが出来ます。



↑ 作品を一同にならべプレゼンテーション



↑ プレゼンテーション後は、  
教員からのアドバイスが

ビジュアルアート演習 I (A) —  
第 2 学年後期  
選択 / 演習

👉 こんな授業！

この授業では絵画領域の描画表現（素描・油彩）について学びます。

基礎から応用への段階的なモチーフによる「形・遠近・明暗・色彩・質感・空間」の把握をテーマとした素描作品および油彩作品の制作を行います。

(この授業は、ビジュアルアート演習 I (B) と連動しています。)

📁 ピックアップ・テーマ

この授業では段階的なモチーフによる、作品制作を通じて試行錯誤を行います。現在は、「石膏像」の木炭デッサンに取り組んでいます。およそ 2 週間の制作期間で 1 枚の作品を仕上げます。

夜遅くまで工房に残り、黙々と作品制作に格闘している学生も少なくありません。2 週間後には、指導教員より講評があり、作品に対する細かなアドバイスに学生は熱心に耳を傾けます。

😊 ここが面白い

木炭デッサンの消し具には「食パン」を使用します。食パンは柔らかく紙を傷めず、木炭の粉を取り去るのに適しています。また繊細なタッチの表現に向いています。学生たちはこの授業で本格的に木炭という描画素材にふれます。

この手ごわい素材と格闘し、新たな発見をしているようです。



↑ 木炭デッサンの様子



↑ 細かなアドバイスに耳を傾ける学生

インテリアデザイン演習 III —  
第 3 学年後期  
必修 / 演習

👉 こんな授業！

様々なインテリア空間の形成手法を論理的に学び、設計デザイン手法を身につけるインテリアデザイン演習 I (2 年生) 及び空間を使った情報伝達媒体としてのディスプレイデザインの考え方を学ぶインテリアデザイン演習 II (3 年生) で修得した技術や知識を用い、演習を通してより高度な空間作りを学び、提案します。

また、プレゼンテーションテクニックや現代的なデザイン手法を構築していきます。

📁 ピックアップ・テーマ

この授業では、「商業施設」と「文化施設」のデザインを学びます。今回は国宮越後丘陵公園内のホールに「新潟の食文化」を来館者に伝達するコミュニケーションスペースを制作するというテーマが課されました。このテーマでは、「デザイン・ポッド（建物内でさらに人間が入りやすい仕切られた空間）」の中に展示スペースを制作することを条件としています。デザイン・ポッドと展示スペースを新潟の食文化と関係付け、笹団子やおにぎりをモチーフにした様々なデザインが生まれました。

😊 ここが面白い

授業は現場を見学し、実際の空間を把握するところから始まりますが、目で見ただけの空間を図面にするのは難しいようです。さらには、自分の考える空間を実現させるためには、やはり使う人の立場になって考えることが重要です。まさにデザインの基本が凝縮されています。



↑ 教員からは時にきびしい意見も



↑ 新潟県内の 3 大産地を表現した、「おにぎり」のデザイン・ポッド

ここでは各学科の在学生の「今」をみなさんにお届けします。今回は卒業を目前に控えた4年生に焦点をあててご紹介します。



**寺井 裕美**  
産業デザイン学科  
2009年4月よりプロダクトデザイン学科  
4年/プロダクトデザインコース  
出身:新潟西高等学校 (新潟県)

今、取り組んでいること

「保育施設で使用する室内遊具」をテーマに卒業制作をしています。大体のデザインが決まってきたところで、実際の材料を使って、プレモデルを作り、現在はそのモデルを保育園に持っていき、園児の反応や保育士さんの意見を取り入れながら、最終モデルに向けての手直しをしているところです。



↑卒業研究のプレモデル

今後の課題や目標

目標は内定先の家電メーカーで、使う人に愛されるような商品を生み出せるデザイナーになること。人間的にも、もっと大きく成長したいです。  
夢は趣味の絵描きをずっと続けて、いつかどこかの賞がとれたらいいなあ…と、そんな感じです。

NIDのオススメの過ごし方

プロダクトデザインアトリエは過ごしやすいです。もうみんな家族みたいな存在なので、アトリエが家だというような変な錯覚まで起こしてしまっています。  
最近では寒くなってきたので、ストーブのまわりに集まって作業しています。

はまっていること

マンガを描くことです。入学してからはあまり描かなくなっていたのですが、ここにきて何故かよく描くようになりました。絵を描くとストレス発散になるので、部屋はすぐに紙の山になります。最近では人体の構造の本などを読み、本格的にキャラクターの動き方を学んでいます。気付くとペンを握り締めている始末です。



↑キャラクター案を練っている場面



**岩佐 麻衣子**  
視覚デザイン学科  
2009年4月より美術・工芸学科  
4年/ビジュアルデザインコース  
出身:三条高等学校 (新潟県)

今、取り組んでいること

卒業研究で「日本の美」をテーマにポスターを制作しています。改めて日本の伝統を見つめ直してみると、新しい発見がありました。自分は日本についての知識が全然ないことに気付きました。もっと日本の魅力を追求したいと思います。



↑卒業研究の作品

今後の課題や目標

安心して仕事を任せてもらえるグラフィックデザイナーになることが夢です。これからはデザインの技術だけでなく、人として成長できるように自分に磨きをかけていきたいと思っています。それと、いつかカナダに住みたいな♪

NIDのオススメの過ごし方

私は図書館で本や雑誌を読む時間が好きです。大学近くの「リバーサイド千秋」にアイスを食べに行くのも好き！息抜きはとっても必要です。恵まれた環境をフルに活用することが充実した大学生活を送る秘訣だと思います。

はまっていること

動物が好きです。実家では犬二匹と猫一匹を飼っています。昔から虫だのカエルだの捕まえては怒られていました。動物図鑑に読み入ったり、課題のアイデアにも、つい動物をモチーフに選んだりしてしまいます。大学の敷地内で犬を散歩している方をよく見かけますが疲れているときは本当に癒されます。



↑飼う猫「レイくん」



**野上 佐保**  
視覚デザイン学科  
2009年4月より美術・工芸学科  
4年/ビジュアルアートコース  
出身:新潟第一高等学校 (新潟県)

今、取り組んでいること

卒業研究作品の制作を中心に行っています。大学4年間、作品制作を通して自分自身の制作のテーマを追求して来ましたが、その最後の節目の作品になると思うので、形に誠実に向き合いながら進めて行きたいと思っています。



↑卒業研究作品

今後の課題や目標

大学卒業後は長岡造形大学の大学院造形研究科に進学する予定です。現在、取り組んでいる制作テーマの研究をさらに深めていき、自分自身の技術を磨くことで求める表現を達成出来るようにしていきたいと考えています。

NIDのオススメの過ごし方

特に図書館をよく利用しています。目的の資料を探すのにも便利ですが、決まった目的がなくふらっと立ち寄りたりしても、興味を惹かれるイメージや文字に出会える事が多く、居心地の良い時間を過ごさせてもらっています。

はまっていること

大学4年生になると履修科目が大幅に少なくなるので、アトリエや自宅などでの作業の時間が多くなり、比較的自分のペースで動く事が出来るので休憩を兼ねてお散歩などをよくしています。その日その日で同じ道に違った印象や匂いを感じる事が、とても良い糧や刺激になっています。



↑友人たちとの飲み会



**佐藤 龍太**  
環境デザイン学科  
2009年4月より建築・環境デザイン学科  
4年/建築デザインコース  
出身:天童高等学校 (山形県)

今、取り組んでいること

果樹園をきっかけとした、地域のコミュニティを形成できる空間を研究、設計しています。過去の作品の延長線上であり、さらに発展させたものを造形テーマとして進めました。しかし納得できるものがなかなかできなかったのが苦労しました。卒業研究の提出までもう時間がわずかなので、最期まで妥協せずに仕上げます。



↑3年次演習課題 イメージパース

今後の課題や目標

(まだ就職は決まっていますが)卒業後は設計事務所働きたいです。仕事や経営のノウハウも学び、そしていずれは起業するのが今の夢です。

NIDのオススメの過ごし方

大学の敷地内には様々な樹木があり、四季のうつろいを眺めるのが楽しいですね。樹形や、葉や実の形、色彩の見せる表情が様々でとても綺麗です。それらを眺めながら、ランチや、課題で行き詰ったときの息抜きをするのも気持ちがいいですよ。

はまっていること

卒業研究で忙しいこの時期は、ほとんどが大学での生活なので、帰宅してからの仲間との飲みはたまらないです。時には近場の飲み屋、時には自分たちでつまみを作って飲んで、日ごろの疲れを癒しています。気の合う仲間との飲みが一番の明日への活力です。



↑打ち上げ!

NIDを巣立ち、社会で活躍する卒業生をご紹介します。  
卒業生の様子をぜひご覧ください。



### 猪股 寛

勤務先：コイズミ照明株式会社  
職名：ライティングデザイナー

1979年生まれ。新潟県出身。  
1997年 燕高等学校(新潟県)卒業  
2002年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科  
工業デザインコース卒業  
2002年 小泉産業株式会社(現コイズミ照明株式会社)  
入社



### 万年 麻美

勤務先：株式会社プロダクション・アイジー  
新潟スタジオ  
職名：アニメーター

1984年生まれ。新潟県出身。  
2002年 新潟商業高等学校卒業(新潟県)卒業  
2006年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科  
視覚デザインコース卒業  
2006年 株式会社プロダクション・アイジー入社  
新潟スタジオ所属



### 白石 晃一

勤務先：京都造形芸術大学  
職名：ウルトラファクトリー  
テクニカルスタッフ

1980年生まれ。新潟県出身。  
1999年 新潟明訓高等学校(新潟県)卒業  
2004年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科  
工芸デザインコース卒業  
2006年 長岡造形大学造形研究科修士課程修了  
2007年 長岡造形大学 工房等運営補助職員  
2008年 京都造形芸術大学 ウルトラファクトリー  
テクニカルスタッフ



### 小林 奈保子

勤務先：小林建工  
職名：事務

1985年生まれ。新潟県出身。  
2004年 柏崎高等学校(新潟県)卒業  
2008年 長岡造形大学造形学部環境デザイン学科  
建築デザインコース卒業  
2008年 小林建工 入社

#### 現在の仕事内容

入社して5年間、照明器具製品のデザインを担当していましたが、昨年からは照明のプランニングとそこに付随する特注照明器具のデザインを行っています。現在は店舗や公共施設等、幅広く物件を担当し、オーナーや建築士など物件に携わるさまざまな人とミーティングを重ね、器具単体でなく空間における光を包括的にデザインしています。

#### 現在の仕事内容

新潟にあるスタジオでTVやゲーム、CM、劇場作品などのアニメーションの作画をしています。昨年は押井守監督の劇場作品「スカイ・クロラ」に動画で参加できたことがとても嬉しかったです。苦勞したこともたくさんありましたが、初めて劇場で出来上がった映像を観た瞬間に当時の苦勞も吹き飛びました。

#### 現在の仕事内容

京都造形芸術大学に新設された「ウルトラファクトリー」という工房のスタッフとして働いています。技術面での制作サポートや指導が主な仕事ですが、立ち上げに際して、最高水準のアウトプットをする為、スタッフ全員で話し合いながらシステムや方法論を構築しています。それと平行して自身の作品を制作し、色々な形態・フィールドで発表しています。

#### 現在の仕事内容

私の勤務している会社は住宅の設計・施工を行っています。施主様との打ち合わせの中で住宅のイメージをまとめ、それをもとにお見積・ご請求書を作成しお渡ししています。工事中は、現場の確認、現場の職人の作業の段取りも欠かせない仕事の一つとして行っています。また、広報用の新聞を作成しています。

#### 仕事に就く“きっかけ”

子供の頃から絵を描くことや工作が好きで、生活に密着するものを作る仕事に就くことを目指し、長岡造形大学に入り、今の会社を選びました。そして照明器具のデザインをするうちに、形状のない光そのものを扱うことに楽しさを覚え、現在の仕事に就きました。

#### 仕事に就く“きっかけ”

物心ついたときから絵を描くのが好きで、落書きばかりしていたと思います。自社の劇場作品を観たときにスタッフロールで「新潟」の文字を見つけて、新潟でもこういう仕事が出来るんだ…とその時は漠然と思っていました。大学でアニメーションを勉強し始めて、絵が動く面白さを改めて実感し、やっぱりこういうことが好きなんだなと思ったのがきっかけです。

#### 仕事に就く“きっかけ”

NIDで工房職員をしていた時期に発表した作品が対外的に評価を得て、現在の仕事に繋がりました。大学で学んだ金属加工の専門性の強い技術を応用して、作品制作をしていた点も売りになりました。作品制作と仕事を両立することにおいて、大学の設備は非常に魅力的ですし、自分の活動以外の事で実践的な経験を積める事は常に勉強になります。

#### 仕事に就く“きっかけ”

この仕事が家業なので、幼い頃から家づくりの仕事の様子を見て育ちました。一昨年中越沖地震が起こり、見慣れた家並みが崩れ、朝から晩までたくさんの方が壊れた家の相談にいらっしやる日が続き、ショックを受けました。この地震によって環境が変わり、家のあるありがたさを感じたことがこの仕事に就くきっかけとしてありました。

#### 学生へのアドバイス

課題、卒研、それ以外の活動でも自分の決めたテーマで探究心を持って突き詰めてやるのが大切です。熱中できる時間はとても大切で、たとえすぐに結果が出なくとも、その中に貴重な発見や喜びを感じることもできます。自分自身でもその経験が後々まで生きる力になっていると感じます。

#### 学生へのアドバイス

自分が楽しんで作った作品は、他の人にもその楽しさが伝わると嬉しいです。楽しんで続けられることを大学生活の中で見つけてください。あと自分に関係なさそうなことでも、後で仕事に何が関わってくるか分からないので何にでも興味を持っていろいろとやってみるのもよいかと思います。

#### 学生へのアドバイス

大学という「社会」とはかけ離れた時間と場所において、刻一刻と世界は動いている事、自分自身がその流れに乗っていないという現実を直視しながら、嘆き、楽しみ、悲しみ、喜び、怒って、朗らかに、憂いて、浮かれて、真剣に、遊びながら勉強しサバイブしてください。長岡で何か面白い動きが起こる事を期待しています。

#### 学生へのアドバイス

在学生の方は毎日課題に追われていることと思います。そういう中でも学生のうちに様々な場所に足を運んで多くのものに刺激を受けたり、出会いを大切にしてください。仲間をつくっておいたりすると学生生活も大学卒業後もより素敵なものになるのではないのでしょうか。

#### 夢や目標

まずは質の高い光環境をひとつひとつ作っていくことです。そしてより多くの人に提供できるよう、光の文化を社会的に広める活動をしていきたいです。

#### 夢や目標

作画の仕事は、ほぼ一日中机で鉛筆と紙に向かう作業ですが、実際には人とコミュニケーションを取ることとても大切です。一つの作品をつくる過程にはとても大勢の人が関わっています。その中の一員だということを忘れずにこれからも丁寧な仕事を心掛けていきたいと思っています。

#### 夢や目標

今後の活動が、経済的にも精神的にも肉体的にも次の活動に繋がられるよう戦略を練っている最中です。自分の夢を考え制作する事が仕事になって、ちょっぴりでも生活費が出れば最高ですね。夢を夢で終わらせない為に、ゆめゆめ努力を怠らずに頑張る所存です。

#### 夢や目標

在学中から日建学院に通い、二級建築士取得を目標として勉強してきましたが、今年、学科試験に合格することができました。今の目標は、現場の職人に信頼されるようになることです。将来、建築士として一人でも多くの施主様に喜んでいただける住宅デザインをしていくことが夢です。



© 権利：「スカイ・クロラ」製作委員会



## introduction

豊富な経験と実績を持つ教員をシリーズでご紹介していきます。  
今回も個性あふれる4名の教員をご紹介します。



**和田 裕 教授**

プロダクトデザイン学科 (2009年4月新設)  
専門分野：トランスポートデザイン

### 専門分野の魅力

トランスポートとは乗り物や輸送機器などモノの移動に用いる機械のこと。様々なエネルギーにより動くモノですから、そのデザインは動態デザインとも言われます。動態ですからその機械からは生命感が感じられます。したがって、愛車・愛機の言葉の如く、使う人との間に深い愛情が生まれます。心が通い合うデザイン領域ですね。

私は過って、いすゞ自動車でカーデザイナーとして働いていました。関わった車たちは、今でも世界中の人々に愛され働いています。私の息子たち二人も、親父が丹精込めたピックアップとウィザードを愛車としています。嬉しいことです。

### 最近のトピックス

刈払機（通称：草刈機）に、はまっています。休みの日に時間があれば、仲間と協同管理している畑や田んぼ、地域の公園の草刈をしています。雑草を刈り取った後のすがすがしさがたまりません。性格の違う2台の刈払機の、エンジン音とガソリンの匂いに酔いしれています。現在ドイツ製の新機種追加を計画。エンジンと言えば、写真のバイクはドイツ製、新しい仲間を欲しがっています。新人はアメリカ生まれになりそうです。

### 学生へのアドバイス

今の若者は物質の豊かな時代に育ったせい、モノに対する愛情が欠けてる。私はモノにもスピリッツ（心）が宿っていると信じている。人と同じでモノを大事にするとは必ず何かを返してくれるよ。モノを生み出すプロダクトデザイナーを志すなら、生活を支えてくれるモノを大事にしなきゃね。モノと話をしましょう。



**長谷川 博紀 教授**

視覚デザイン学科  
専門分野：広告全般、グラフィックデザイン、イラストレーション

### 専門分野の魅力

広告は商品やサービスを売ると同時に人々の生活を便利に豊かに快適にすることも大事な使命です。そういった意味で広告は新たなライフスタイルの提案を含んでいるといえます。広告に携わるクリエイターたちは人々に夢を与え、「広告が世界を変える」という気概をもって日々新たな表現、コミュニケーションを模索しています。

### 最近のトピックス

実家の改装にともなって置きっぱなしにしてあったガラクタを整理しなければならなくなりました。そんな中で四半世紀前に購入したMacintosh Plusと久しぶりに再会しました。当時日本で買うとべらぼうに高かったのが米国の販売店にファックスをして並行輸入して手に入れたものです。Macを立ち上げるとプワーンと言う音を立ててHappy Mac（笑顔のマーク）のアイコンが現れました。この春はおじいちゃんMacの手入れをしてあげようと思っています。

### 学生へのアドバイス

思い通りにものごとが進まず、はたして目標にたどりつけるのだろうか。君は、そんな悩みをもっていますか。たしかに目的地まで何の障害もなくすんなりたどり着き、簡単に欲しいものが手に入れば、それにこした事はないでしょう。しかし、道に迷って回り道してこそ得られるものもあります。それは自分自身と向き合うという貴重な時間です。その時間があなたを魅力的に成長させるということ覚えておいてください。



**高崎 賀朗 准教授**

美術・工芸学科 (2009年4月新設)  
専門分野：現代絵画（油彩、ミクストメディア、スクリーンプリント）

### 専門分野の魅力

一般的に絵画の誕生は、およそ2万年前のラスコー洞窟の壁画とされている。それでは、なぜ、その壁画は描かれたのだろうか？ 諸説あるが、はっきりとわかっていない。絵画は時空を超えた問いかけのように思えてなりません。

観る人は、作品と対峙し、想像力の翼を広げ、さまざまなことを受信する。創る人は、想いや考えを作品に託して発信することができる。そして、絵画表現の多様性は、人の心を掴み、共感し、人間性の調和を保つひとつの要素となっている。絵画には、人間にとって大切な豊かさがあるように思います。

### 最近のトピックス

先日、学外授業「作品鑑賞研究」にて長野県上田市にある「無言館」に行きました。この美術館には、太平洋戦争で戦地から帰るもののなかった画学生たちの作品や遺品などが展示されています。

学生たちが提出したレポートには、率直に感じ取ったことが書かれていました。当時、戦場に散って行った画学生たちと同年代だからこそ感じ得たと思われる印象深い言葉もありました。率直に感じ取ることのできる感性も作品を創る人にとって大切な素養なのです。

### 学生へのアドバイス

大学時代に触れることの全ては、卒業後の活動の糧となります。興味あることを探し、沢山の試行錯誤を行ってください。その経験から自分らしさは発見できます。自分らしさを知ることは、作品を創るうえでベースとなる大切なことです。

最初から満足のいく作品を創ることは難しいです。諦めずに創り続けること、積極的に取り組むことができれば、自然と制作する喜びが生まれてきます。精一杯、全力で挑戦してください。



**平山 育男 教授**

建築・環境デザイン学科／造形学部長  
専門分野：建築史

### 専門分野の魅力

一目で歴史的な建物や民家の建築年代が分からないものか密かに考えている。

建物を調査するとき、断面が四角い角釘を建築の中に見付けば明治時代中期以前、丸釘があればそれ以後のものとする事ができる。近頃は材に残る鋸目にも注目している。手挽であれば木挽が木目を見ながら挽くため挽跡はまだらで、これは明治時代末期までのようだ。丸い同心円が見られるのは丸鋸でそれ以後、平行な目が残る帯鋸は大正時代以後と判断している。建物の調査をするときは他に平面図や断面図、加えて復原平面図、梁組を示す架構図や写真の撮影を行う。併せて建物各部を隈無く観察し、襖の裏張りを破けた穴から観察すると、昭和の戦前期であれば1/3位の確率で当時の日付が入った新聞を見つかる事ができる。時には赤外線カメラで目に見えない痕跡も探る。そして小屋裏まで上がり、建築年代を記した棟札などに遭遇できれば◎であるが、中には年数を記さない幣串もある…。そんなこんなをしていると、調査の1日はあっという間に暮れかかり、拾い集めた情報を総合して建築年代が臆気ながら判明するのである。

やれやれ、道のりは未だ険しい。

### 学生へのアドバイス

かように、近道はなくホコリと汗にまみれてやっていくしかないことを毎回の調査で思い知らされる。しかし、この泥まみれの1日がとてつもなく楽しい。いつ頃に建物ができのたかを知ることもあるが、「人はなぜ建築を創ったのか」ということを時々体感することもできるのだ。チリとススの彼方に「真理」は潜んでいる。それを見つけて出すのは君たちでもある。健闘を祈る！

3年生の皆さんは就活の真っ只中…のはずですが、ちゃんと就活していますか？

2月になっても何もしていなかったら就職先の大多数を逃したことになりますよ。まだ何もしていない人は今すぐ就活開始です。

何から手をつけたら良いかわからない人は今すぐ就職進路開発センターへ相談にきてください。

## 理想の船で大海原へ

ほとんどの方が大学を卒業したら就職し、社会人としての生活を始めると思います。

今回はこの社会人としての長い人生を航海に、会社をその航海のために乗り込む船に例え、就活を解説してみたいと思います。



毎年大学3年生が集まる港があります。この港こそが就活の舞台です。この港には10月ころから多くの船が入港してきます。そしてちょうど今頃、船の数はピークを迎え無数の船が船先を並べひしめいている状態となります。これらの船は来々春大学を卒業し、クルーとして乗船してくれる仲間を探しにやってきた船ばかりです。大きな船も小さな船も、豪華な船も沈みそうな船も、様々な船が停泊しているので、一見ただけではどの船に乗り組んだら良いのかわかりません。

そこで、この時期に多くの船が船内を公開し、説明する内覧会を開催しています。これが会社説明会などと呼ばれているものです。この内覧会に参加するには招待券を入手しなければなりません。招待券は簡単な申し込みだけで誰にでも発券してくれます。これがいわゆるエントリーです。[エントリー=就職試験]と思っ込んでいる学生がいますが、これは単なる内覧会の申し込みですから、少しでも気になる船があったらすぐに申し込みましょう。招待券を手に入れたら実際に船に乗ってみるのですが、この港は途方

もなく広いうえに無数の船が停泊しているため、片っ端から乗ってみるというわけにはいきません。こんなときに便利なのが複数の船主が合同で開催する説明会です。

多いときは数百隻、小さいものでも数十隻の船主が集まり、パンフレットや映像などで船の説明をしてくれます。これが合同企業説明会です。実際の船には乗れませんが、約半日で多くの船の概要がわかり、その後、実際の船に乗り込んだときにチェックするのに役立ちます。

さあ、いよいよ乗船してのチェックです。船室やエンジン性能など一見してわかることだけでなく、隠された利点や欠点も感じ取れないといけません。とても難しいことのように思うでしょうが、何隻も見て回るうちに不思議とわかるようになってきますし、見るべきポイントも経験を積むと違ってきます。一見立派に見えるけど配管が錆だらけだったり、船底の穴をベニヤで塞いでいたり。また外見はさえない船なのに、他にはない画期的なシステムが備わっていることなど良くある話です。棧橋から船を見ているだ

けではこれらには絶対に気がつきません。

内覧会の大きなポイントの一つにパンフレットやWebではチェックできない乗組員の様子や船内の空気などを肌で感じられる点があります。船の歴史は何十年もあるのにベテラン乗組員がいないとか、乗組員の動きが緩慢だとか。逆に乗組員全員が一丸となっているとか。他の多くの内覧者が良い船だと評価していても自分には合わないことも、またこの逆もあり、これは実際に乗船しないとわからないことです。

内覧会の段階では皆さんが自由に船を選ぶ権利を持っているので、大海原に漕ぎ出すのにふさわしくないとと思ったら、自由に下船できます。ですから一隻でも多くの船に乗り込み、比較するべきです。服を買う時にたった数着の中から選ぶより、多くの店を回り何十着の中から選んだ方が良い服が買えるのと一緒で、選択肢は多く持っていた方がより良い結果が得られるのです。

皆さんが船を選択し、クルーとして乗り組みたい意思を示したら、次は船主側が皆さんをクルーとして大海原で苦楽を

共にするのにふさわしい人物かどうかを選考します。これが面接や筆記などの就職試験です。人気の船には多くの乗船申し込みがあり、またほんの1、2人しか採用しない船もあり、乗船許可を得るのも思うようには行きません。これらの乗船試験には「慣れ」も重要なポイントです。最初は緊張しますから、実力の半分も出せない場合がほとんどで、始めの何隻かは落とされて当たり前と思わなければなりません。第一希望の船に真っ先にチャレンジすることは良策ではありません。また乗り組み希望の船を少数に絞り込みすぎるのも危険です。最近の港(就職戦線)の状況を見ると、船は4月下旬から5月上旬にクルーを内定し、一斉に出港してしまいます。

その時に港に取り残されると乗り組む船の候補を探すことすら難しくなってしまいます。ですから、乗船希望を第一希望の数隻に絞り込み、全部ダメなら次を探すというのは、実はかなり難しいことです。先ほども一隻でも多くの船の内覧会に参加した方が良いと言ったのは、このことも大きな理由の一つです。

良い船に巡り合い、希望する船に乗って大海原へ漕ぎ出すためには、港に船が多数停泊している1、2月に一隻でも多くの船の内覧会に参加すること。それには少しでも気になる船の内覧会情報を見つけたらすぐ申し込まないといけません。乗船希望も最初から絞り込まず、多くの船の試験を受けることです。

最初に絞り込んで徐々に広げるのではなく、最初は広く選択肢を持ち、徐々に絞り込む方が良策です。多くの船の内覧会に参加するためには、交通費や宿泊費もかさみ、時間も多く費やします。乗船試験となると更に大変ですが、どの船に乗り組むかでその後の人生が大きく変わると考えると、避けてはいけないとても重要なことです。保護者の皆様もこの時期には、お子さんを多方面から支援していただきたいと存じます。

## 緊急告知！就活戦線異常あり

連日の報道等でご存知のことと思いますが、世界的な景気の悪化で就職環境が急激に悪化しています。これから就活本番を迎える3年生は今すぐに就活を開始しないと取り返しのつかないことになってしまいます。例年あるはずの秋採用や2次募集、追加採用などは今年に関しては全く期待できない状況です。のんびり春休みを謳歌していると一生後悔することになりかねませんので、今すぐ就活を開始してください。「こんなに悪い状況で無理に就職しなくても…」という親御さんの声を耳にしますが、これは非常に大きな間違いです。新卒で就職(正社員として)しないと、連日ニュースで報道されているような弱い立場の非正規労働者への道を歩んで

しまう危険性が極めて高くなります。どんなに状況が悪くとも、新卒の今が最も就職のハードルが低いことに間違いはありません。

いずれ誰しもが自らの力だけで生活しなくてはならない時が必ず来ます。その時には困難な壁をも乗り越えなくてははいけません。今がまさにその時なのですが、それを少し先送りすることは壁をより高く険しいものにするだけです。「とりあえずアルバイトでも…状況が良くなったら正社員に…」それが不可能なことは派遣切りの報道で明らかなおとです。お子さんがまだ何も就活をしていないようなら、すぐに行動を起こすように促していただきたいと思ひます。





長岡造形大学保護者会「大地」の活動内容や事業報告などを行って行くコーナーです。今回の保護者会通信は東京シャトルバスについてのお知らせです。

# 東京シャトルバス

東京シャトルバスは保護者会の主要事業の一つで、長岡造形大学と東京池袋を往復する、長岡造形大学学生専用の貸切バスです。利用料金は往復でたったの2,000円、毎月1回程度運行されます。申し込みは学生支援課で受け付けています。

## 東京シャトルバス体験記

東京シャトルバスは知っているけど乗ったことがない人や、東京シャトルバスって何？という人のために、8月8日(金)～9日(土)に運行された東京シャトルバスを利用した、視覚デザイン学科4年の安 俊彦君から乗車レポートを書いてもらいました。まだ乗ったことがない人もこれからどんどん利用してください。ほとんどの回が満席になりますので、乗車申し込みはお早めに。



**金曜日** 出発 🚌  
 22:30 大学の駐車場からバスに乗り込みます。  
 ↓ 途中、長岡駅からも乗ることができます。  
 ↓ 今回は満席！ 混んでいます。  
 ↓ ショッピングや友だちに会いに行く人、就活のためにこのシャトルバスを利用する人もいます。  
 ↓ 僕は今回、美術館に行くことと、画材の買い出しが目的です。



**土曜日** 県境を越え群馬県に入るところ日付が変わります。  
 ↓  
 00:10 トイレ休憩 🚻  
 ↓ 既にバス車内は灯りが消され、寝ている人もちらほら。  
 ↓  
 04:00 東京への到着時間を調整するためにパーキングエリアにて1時間半のんびり休憩します。



06:10 池袋サンシャインシティに到着！ 🚌  
 ↓ これから17:50までたっぷり一日、東京での自由時間がスタートです。  
 ↓



06:20 腹ごしらえのために朝マック！  
 ↓ 美術館やお店がオープンするまでの間、いつも24時間営業のファミレスなどで、その日の計画を練ります。朝早く到着するので横浜や幕張などへも余裕で行けますよ！  
 ↓  
 08:00 池袋をあとにして 🚌  
 ↓ 今回の目的地のひとつ上野へ向かいます。



08:20 上野に到着 🚌  
 ↓ 東京国立博物館の開館まで、まだ時間があるので上野公園を散策します。  
 ↓



09:20 国立博物館へ  
 ↓ 開館時間前ですが、すでに行列ができていました…。  
 ↓ 今回観覧するのは「対決 - 巨匠たちの日本美術」という展覧会。円山応挙 vs 長沢芦雪、狩野永徳 vs 長谷川等伯のように日本美術史上に燦然と輝く2人の作品を比較鑑賞できる大変ユニークなものです。日本美術を知らない人でも名前くらいは知っているような巨匠たちの作品が一堂に会します。  
 ↓ 国宝や重文がゴロゴロ!!



13:00 国立博物館を出る。  
 ↓ すごく良い展覧会でした!!!  
 ↓ 特にお目当てだった曾我蕭白の「群仙図屏風」という作品からは今まで味わったことのない感銘を受けました。「絵で人をこんな気持ちにできるのか!」という衝撃！ 本物を見られて本当に良かった…。  
 ↓ 本では絶対に味わえない迫力でした。



13:30 フリーマーケットに立ち寄る。  
 ↓ 上野公園でパキスタンの人たちがフリマをやっていたのでのぞいてみました。民俗音楽の演奏を聞きながら安い服を漁り、シャツ2枚を買いました。



13:40 上野動物園へ  
 ↓ いつもなら、あと1つ2つ美術館を覗いて回るのが、今日はすっかり満足してしまったので、ずっと行きたかった上野動物園へ、入園料600円は安い！生の動物たちを見るのは久しぶりだったので、すごくワクワクしました。  
 ↓  
 ↓ 図鑑では見ることのできない「動き」を見ると、また違った印象を受ける動物たち。これこそまさに生きた教材！  
 ↓ シロクマでっか！  
 ↓ でも可愛い!!



16:00 新宿へ移動 🚌  
 ↓ 最後に画材を買いに新宿へ向かいます。「世界堂」というお店はビルの1階から7階まで全部が画材屋さんという大きなお店、しかも安い！ほぼ全ての商品が定価の2割引。シャトルバスの日程に合わせて足りない画材をチェックして、いつもここへ立ち寄ります。今回は絵筆などを買いました。



17:00 池袋へ 🚌  
 ↓ 買い物も済んで、そろそろ出発の時間も迫ってきたので池袋へ戻ります。集合場所は到着と同じく池袋サンシャインシティ。すぐ近くに東急ハンズがあるので、ギリギリまで時間を有効に使えます。コンビニでバスの中で食べる夕食を買ってから集合場所へ行きます。



17:30 バスに乗車  
 ↓ 買い物袋を抱えた友だちが続々と戻ってきます。  
 ↓ 発車 🚌  
 ↓ シャトルバスは行きだけとか、帰りだけって使い方もできるので、このまま東京で1泊する人、東京で就活して帰る人なんかもいます。今回は行きだけ乗車の人が多かったので帰りは若干すいていました。みんなお疲れのようで行きの車内ほど話し声は聞こえません。  
 ↓ 帰りは時間調整の必要も無いので、一路長岡を目指します。



22:00 長岡駅に到着 🚌  
 ↓ お疲れ様でした！  
 ↓ バスは最初に長岡駅で何人が降ろした後、大学へ向かいます。午後10時前には長岡駅に着くので、駅から電車でも十分間に合いますよ。長かった一日もこれで終わり。明日は日曜日なのでゆっくり休めます。  
 ↓ さて、来月はどこの美術館に行こうかな。

# TOPICS

最近のイベントや学生活動などをピックアップしてご紹介します。

## 越後牛の角突き街道プロジェクト 案内看板設置 (小千谷市横濱地内)

2008.10

やっとやっと完成。前例がなくかなりの難工事でしたが、除幕式の時に招かれた小学生の歌声に、苦労が吹き飛びました。前学長の鎌田先生本人の作業によるデータも、こうして美しい表示板に仕上がりました。多くの方々、立体コケ造形を「まるで山古志みたいですね」と言ってくれました。被災地域復興の力を表現したのですが、かわいい牛太郎のようにも見えました。この案内板は新潟県長岡地域振興局により、地域全体を「牛の角突き街道」という名称で、広く全国的に知ってもらおうとする復興コンセプトに基づいています。鎌田先生と山下研究室によりデザインされ、建設工事には山下研究室の総力をあげて取り組みました。私の妻（建築設計）も東京から駆けつけました。ずいぶん長岡を気に入り、居着いてしまいそうです。

山下秀之（建築・環境デザイン学科教授）



作品展示やステージライブなど学生が主体となりすべてを作り上げ、締めくくりには晩秋の夜空に大輪の花火を咲かせました。また、作家の立松和平さんによる特別公開講座も、多くの方々のご参加により盛況のうちに終了いたしました。さて、来年の大学祭は何が待っているでしょうか。ぜひお楽しみに！



## 大学祭「Puzzle」 大盛況にて閉幕

2008.10

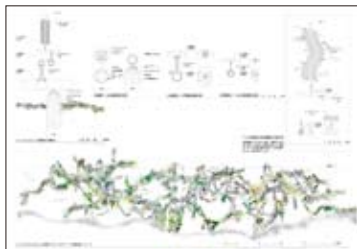
10月11日、12日の2日間、大学祭を開催しました。今年のテーマは「Puzzle」。個性あふれるピースが揃い大きなPuzzleとなって来場者を魅了しました。ゲストにはASIAN KUNG-FU GENERATIONのCDジャケット等を手掛けるイラストレーターの中村佑介さんを迎え、学生に向け熱いメッセージをいただきました。



## MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2008 三菱化学賞 受賞

2008.11

MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2008（主催：同AWARD実行委員会、特別協賛社：三菱化学株式会社）にて、本学大学院修士の丹洋祐くんの修了研究作品「tri-structure」による藻場再生プログラムの研究「海浜環境における「からみ・ほぐし」造形論」が三菱化学賞を受賞しました。当コンペティションは、デザイナーの育成支援とデザインの振興を目的に毎年開催されており、日本で唯一デザイン全般の卒業制作を対象とするアワードです。審査委員からは、「非常に画期的かつオリジナリティ溢れるコンセプト」、「時代性に加えて、ユニークなアイデアとコンセプトが光る」との選評を得ました。



受賞作品：tri-structureによる藻場再生プログラムの研究「海浜環境における「からみ・ほぐし」造形論」

## 0展 ～卒業制作学外展～

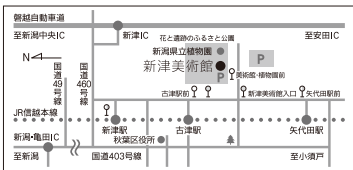
Information

このたび、産業デザイン学科（2009年4月より美術・工芸学科）の有志10名により、卒業制作の学外展示を行うことになりました。

全員が初めての学外展であり、ゼロからのスタートという意味を込めた0展。金属工芸、染め・織り、彫刻、インスタレーション…それぞれが学んできたことを、楽しんでご覧いただけたら幸いです。



場所：新津美術館 1F 市民ギャラリー  
会期：2009年2月21日(土)～3月1日(日)  
※2月23日(月)は休館日です。  
お問い合わせ：長岡造形大学入試広報課  
TEL：0258-21-3331 E-mail(0展代表)：yoroshiku\_0ten@yahoo.co.jp



新津美術館  
新潟市秋葉区浦ヶ沢109-1  
花と遺跡のふるさと公園内  
TEL：0250-25-1300  
<http://www.city.niigata.jp/info/naf/>

## 長岡造形大学校友会 10周年記念式典・祝賀会を 開催します。

Information

長岡造形大学校友会が創立10周年を迎えるにあたり、卒業・修了研究展に併せて「10周年記念式典」及び「記念祝賀会」を開催します。

10周年記念式典では特別企画として豊口協理事長、上山良子 学長による記念対談（テーマ：デザインと職業観）を行います。またその後は、会場を長岡グランドホテルに移し、記念祝賀会を予定しています。先生方を囲んで、当時の懐かしき良き時代を振り返りましょう。

たくさんの卒業生のご参加をお待ちしています。

日時：2009年2月7日(土)  
卒業・修了研究展 同日開催  
15:00 10周年記念式典  
(長岡造形大学 大講義室)  
記念対談「デザインと職業観」  
18:00 記念祝賀会  
(長岡グランドホテル)

※当日は大学からホテルまで送迎バスを用意していますのでご利用ください。  
参加費(祝賀会)：5,000円  
※当日、受付にて徴収いたします。  
記念式典、祝賀会ともに事前申込み不要  
お問い合わせ：長岡造形大学校友会  
E-mail：tenth@nid-aa.net 長岡造形大学学生支援課 TEL：0258-21-3345

### Editor's Note

今年も卒業・修了研究展の時期がやってきました。この時期、長岡は雪が積もることが多いのですが、今年ほどの程度の積雪になるのでしょうか。雪が降る夜ははずまりかえって澄んだ空気が心地よく感じます。

太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。  
次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。  
三好達治「雪」

この時期、夜にアトリエの電気がついていると、なぜこの詩が頭に浮かんできます。しんと静まり返ったアトリエや研究室で、黙々と作品制作に打ち込む時間は、いつもの雰囲気とは違い研ぎすまされた時間の流れを感じます。この独特な情景は、雪国の美術系大学ならではのことだと思います。

ぜひ長岡造形大学卒業・修了研究展で、学生たちの集大成をご覧ください。

表紙写真：「モナ・リザ」

編集・発行



長岡造形大学入試広報課  
〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地  
tel. 0258-21-3331 fax. 0258-21-3343  
e-mail: nyushi@nagaoka-id.ac.jp  
<http://www.nagaoka-id.ac.jp/>